



高速カラープリンター「オルフィスGD」導入事例

2階が本社事務所、1階にレストラン、売店、工場を備えた和風の風情ある構えの「総本店」。遠方から来店するお客も多く、観光バスも立ち寄る名所だ。

日本三大うどんの一つに数えられる、秋田県湯沢市稲庭町周辺で作られる稲庭うどん。江戸時代から350年以上の歴史を刻む稲庭うどんの、宗家から受け継いだ一子相伝の技を守り続けるのが佐藤養助商店だ。完全な手仕事で作る、価値ある同店の稲庭うどんは贈答需要が多い。そのため、熨斗紙が欠かせない。同店ではこの春から、さまざまなデザインや表書きの熨斗紙の印刷に、理想科学工業の高速カラープリンター「オルフィスGD」を活用している。

### 大量の熨斗紙印刷の効率化が課題に

同店の贈答用商品は、お中元、お歳暮、慶事弔事のお返し、お世話になった方や父の日、母の日のギフトなどの贈り物に重宝されている。

こうした贈答向けの大半は、用途に応じた熨斗紙をかける。以前は、慶弔などの定形の水引があらかじめプリントされた熨斗紙をサプライヤーから購入し、自社で表書き、送り主の名前などをプリントしていた。「いろいろなパターンがあり、最近はお母さんありがとうなど、独自のお礼の言葉を入れたといった要望も増加しています。その都度、用途に応じた定形用紙をプリンターにセットし、表書きとお名前、位置を調整しながらプリントするので、注文が多い時期は大変でした。また、用途別、サイズ別の用紙の在庫も必要で、在庫を切

らすと作業がストップしてしまつたため、週に在庫することになり、ロスも出ていました」と、今野氏は当時の悩みを語る。

うどん作りは効率化と無縁でも、熨斗紙に関しては、水引に表書きと名前も含めて自社でプリントして効率化が図れないかと考えていた折、理想科学工業の販売代理店渡敏が、課題解消には「オルフィス」が最適だと提案。5年前に導入し、熨斗紙を含めたさまざまな用途に使っていたが、今春新たに最新機「オルフィスGD」を増設した。

「オルフィスGD」は、フルカラーを1分間に160枚のスピードで印刷する能力を持つ世界最速の高速プリンターで、2500枚の連続給紙も可能だ。

軽量紙から厚紙、封筒、はがきなど、多彩な用紙にプリントできる。多枚数の印刷はもちろん、少枚数のプリントでもスピーディな上、多彩なオプションを装着するこ



物流センターの事務室の一角に設置された「オルフィスGD」で熨斗紙を印刷し、すぐに隣接するスペースで化粧箱にかけるので効率的だ。

## 贈答需要が多く、熨斗紙印刷にフル稼働

とができ、業務の効率化に貢献する。中小小売店での導入にも適しており、チラシなど各種店舗販促ツールの印刷で効果を発揮する。

「これまでも『オルフィス』を使ってきて、性能や使いやすさは分かっていました。販売店さんはメンテナンスなどもきめ細かに行つてくれ信頼関係があった」（今野氏）という同社は、提案を受け、すぐにテスト導入した。

熨斗紙のソフトを使って、パソコンで水引、表書き、名前をレイアウトして印刷したところ、『オルフィスGD』なら水引と表書きを一度に印刷でき、水引部分の色合も刷り上がりも、印刷済みの水引と比べて遜色ない。そして、プリントするスピードが驚くほど速い。香典返し用の熨斗紙は急に数百枚と必要になるが、『オルフィスGD』ならすぐにプリントできることが大きなメリット（今野氏）と効果を実感し、今年4月に正式導入した。

### 水引を含めて物流センターで一括印刷

同社は稲庭町内にある、本社機能に売店、レストラン、工場を併設した「総本店」に加え、秋田県、東京都、福岡県に直営のレストラン、販売店など13店舗を構え、インターネット販売も行っている。

持ち帰り品に関しては、熨斗紙も各店舗で手書き対応しているが、各店舗で受けた配送分や、電話、FAX、インターネットで受け付けた商品に関しては、「総本店」から車で数分の距離にある物流センターから出荷する。

その多くが熨斗紙をかける贈答用で、従



「オルフィスGD」で、水引ごとプリントした熨斗紙。熨斗紙は送り主の心を伝える日本特有の文化だ。オルフィスを使えば伝統的なものからお礼の言葉などを記す新しい形まで、柔軟に対応できる

### 印刷時間は半減コストも大幅に削減

現在「オルフィスGD」は物流センター内の事務室に設置されている。

「通常使用する、A3とB4の白紙の用紙をセットしておけば、パソコンでレイアウトして用紙と枚数を指定するだけで、熨斗紙がスピーディに印刷できます。印刷に要する時間は従来の半分に短縮され、総本店との行き来の必要もなく物流センター内で全て完結するので、その分の手間と時間を含めると大幅な効率化につながっています」と、熨斗紙の印刷に関わる同社営業部の鈴木潔司氏。

熨斗紙の印刷枚数は月平均5万枚で、贈答シーズンには跳ね上がる。お中元シーズンに突入した、7月のある日の出荷件数は約700件。1件につき、個数が100個以上のケースもあり、一日2000個は優に超える。その7〜8割に熨斗紙をかけるのだが、そうした熨斗紙の大量印刷が「オ

ルフィスGD」で可能になった。「オルフィスGD」から次々と異なる熨斗紙が印刷され、すぐに隣室で化粧箱にかけられていく。操作性が高く、スタッフの誰でも使えるのも魅力だ。

「今の時期、物流センター稼働中はほぼ熨斗紙を印刷しています。このプリンターがなければ、とても一日700件の出荷はできませんでした。しかしながら『オルフィスGD』の導入で可能になり、販売量が増えたことは大きな効果でした」と鈴木氏が言うように、販売拡大の大きな戦力になっている。

また水引を印刷した熨斗紙の購入代金やロス、印刷に要する人と時間の手間暇などを考えると、「コスト面でも大幅な削減になる」と鈴木氏はコスト面のメリットも実感している。

同社では、今後も「オルフィスGD」を熨斗紙印刷を中心に運用し、「総本店」の「オルフィス」を周辺の観光マップや顧客アンケートなどの印刷に活用していきたいとのことだ。

**企業概要**  
 企業名/ 稲庭養助商店  
 所在地/ 秋田県湯沢市稲庭町字稲庭 2229  
 代表者/ 佐藤正明  
 店舗数/ 直営13店  
 従業員数/ 237人（パートを含む）

\*1・オルフィスGD9630/GD9631の場合、A4普通紙片面複写、標準設定連続プリント、GDフェイスダウン排紙トレイ使用時。2016年9月現在販売の枚葉（ワット紙）オフセットカラープリンターにおいて世界最速（当社調べ）。オルフィスGD7330のプリント速度は130枚/分。  
 \*2・オルフィスGD9630/GD7330の場合。